

# 「まちづくり座談会」を 行いました！

7月22日に、「障がいがあつても住みやすい笛吹市にするためにはどのようにすればいいのか」というテーマで、「まちづくり座談会」を開催しました。市長や市関係職員、民生・児童委員、障がい当事者やその家族など約80人の参加がありました。

手話が使いややすい環境づくり、市民のボランティアや活動場所、親が元気なうちに取り組んでおきたいこと、障害者差別解消法の周知啓発、障がい児者の移動手段の問題などを題材に意見交換を行いました。

知的障がい者の親からは、親なき後のわが子の将来について、安心して生活できる住まいがないことや自宅以外の生活を体験できる機会がないことが話されました。

学齢期の障がい児の親からは、部活動や職場実習で家族の送迎が必要のため、就労との両立が難しく、仕事を諦めるような状況もあること、また、設備がバリアフリーでないため、子どもの行きたいところへ連れて行ってあげられないことなどの話がされました。

当事者の生の声を聴き、生活のしづらさや知らないことがまだまだ多くあることに気付かされ、非常に有意義な時間となりました。

## 障がい者基幹相談支援センターだより

No.23



### ■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター  
☎ 055(262)1274